

飛び込め！大洲のファーストペンギンたち

今年度のまとめとなる3月を迎えました。4月の頃を思い出すと、子どもたちは心も体もだいぶ成長したようです。もちろんそのウラには、一人一人の頑張りと努力が、そして、それを支えてくださったたくさんの人の励ましがあったことと思います。是非、ご家庭でも、卒業や進級を前に1年間を振り返り、お子様の成長と一緒に喜んでいただきたいと思います。

そして、3月はお別れの月でもあります。17日には、82名の6年生が卒業します。卒業生と保護者の皆様に心からお祝いを申し上げますとともに、子どもたちへの指導・支援に関わってくださった多くの方々へ厚く御礼を申し上げます。

また、他の学年の子どもたちも、進級時にはクラス替えがあります。一日一日を大切に、クラスの友だちや先生と、多くの思い出をつくってほしいと願っています。

さて、群れの中から、天敵がいるかもしれない危険な海の中へ、真っ先に飛び込んでいく勇気あるペンギン。仲間に進むべき道を示し、さらには自分が一番多くの餌を獲得することが期待できます。その勇敢さにあやかって、リスクを顧みず先陣を切り、開拓に挑戦する人を「ファーストペンギン」と例え、一時、ビジネス業界で話題になったりもしました。



しかし、実際の自然界では、このファーストペンギンはそんな「意識が高い」ペンギンではないようです。氷の上で「押すなよ、押すなよ」と押しあいへし合いした結果、一番端で、必死に踏みとどまっていたものが残念ながら落とされる。という「残念な」ペンギンがその実情のようです。（諸説あるそうです）

思えば、3年にわたるコロナ禍の中で、学校生活を過ごしてきた子どもたちは、このファーストペンギンだったのかもしれません。好むと好まざるとにかかわらず学校生活は激変しました。行事は縮減、簡素化されました。そして、大きな声で話したり笑ったりすることが憚れるマスクでの生活。グループでの話し合い活動の制限、給食は一方向を向いての黙食、いったい誰がそんな学校生活を望んだのでしょうか。

しかし、だからこそ、子どもたちは、制限のついた行事でも、開催できること自体に感謝し、後悔をしないようにと無我夢中で全力で取り組みました。失敗を恐れずに挑戦しようという強い気持ちは、結果として、団結することの大切さを知り、友だちとの絆をより深め、

大好きな友だちをこれでもかとたくさんつくることができました。そして、学校生活をよりよいものにしようとする姿は、低学年の子どもたちに道を示すことにもなりました。

困難はまだまだ続くのかもしれません。しかし、多くを学び体験した子どもたちならば、どんな荒海も怖くはないと私は信じます。

「飛び込め！ 大洲のファーストペンギンたち！」



学校関係者評価（学校運営協議会）

学校運営協議会委員による学校評価を行いました。ご意見の概要をお知らせします。

確かな学力

- 全学年でタブレットを活用した学習に取り組み、学力向上に努めている。
- タブレットを使いこなせるようになり、調べる楽しみが増え、学習意欲が高まっているのではないのでしょうか。
- 高学年での教科担任制は、教える先生が同じなので、授業のクラス差があまりつかなくなりいいと思う。
- 児童一人一人に応じたきめ細かな指導ができていることは、アンケートの結果に表れている。
- 自ら進んで調べる学習等、興味関心を揺さぶる授業づくりに努めてほしい。

豊かな心

- 明るく元気な挨拶ができたり、校内で出会うと会釈ができたりする児童が多い。
- 人権教室や人権標語など、日常の指導により、人権意識が醸成されている。
- 豊かな心を育むために、校外学習や体験学習を充実させている。本物を見たり、聴いたり、触れたりすることに力を入れていることは素晴らしい。
- 「いじめ」だと気づかずに「いじめ」をしていることがあるかもしれない。早期に発見し、早期に指導、解決することが大切だと思う。

健やかな体

- 委員会活動を活用して体力づくりに力を入れている。年間を通して、遊びを柱とした体力づくりも工夫して行っている。
- 「ながなわ大会」や「ドッジボール大会」を実施するなど、体を動かすためのきっかけづくりがしっかりとできている。寒い中でも積極的に外遊びをさせることはいいことだと思う。
- 子どもの食事環境が整っている家庭ばかりではない。学校、家庭、地域が連携し、子どものSOSに気づき、支え合っていけたらと思う。

信頼される学校

- 学校や先生方が活動しやすいように、できることがあれば少しでも協力したい。
- 「学校だより」を読み、学校の願いや、学校の様子がわかる。これは、学校の「見える化」となり、学校理解が進み、信頼される学校づくりにつながっている。
- コロナで厳しい環境であるにもかかわらず、地域人材やボランティアを活用したり、体験を重視した学習を進めるなど、特色ある取り組みができています。
- 毎日、ホームページに児童の活動や授業の様子を発信するなど、開かれた学校づくりを推進している。

クラス替えについて ～全学年で実施します～

次の利点を生かすよう、全学年でクラス替えを実施します。

- 子ども同士のかかわりが増え、新しい友だちづくりが期待されます。
- 可能な限り学級差を改善し、学級相互の均分化を図ることができます。
- 教師にとっては「1年勝負」と期間を決めることで、より集中的・計画的に見通しをもって児童と向き合えます。



学級編制の単年制の良さを認めていただけるよう、今まで以上に全力で指導にあたっています。ご理解くださいますようお願いいたします。